

2019年2月15日

「オンライン面談」と「アプリ支援」の提供を開始

～情報通信技術を活用した特定保健指導～

SOMPOヘルスサポート株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：角 秀洋、以下「SOMPOヘルスサポート」）は、特定保健指導サービスメニューに、情報通信技術（以下「ICT」）を活用する「オンライン面談」と「アプリ支援」を追加し、2019年2月から提供を開始します。

1. 背景

厚生労働省は、医療保険者へ実施を義務付けている特定保健指導の実施率向上のために、2018年度からICTを活用する初回面談支援の導入促進など運用の緩和^(※1)を進めると共に、より効率的かつ効果的な特定保健指導の実施を求めています。

こうした背景の下、SOMPOヘルスサポートは、年間約15万人の特定保健指導実績を持つこれまでの対面と電話による支援に加え、新たにICTを活用したオンライン面談とアプリ支援の提供を開始することとしました。

*1 概要は、厚生労働省のウェブサイトに掲載されている以下資料

（「ICTを活用した特定保健指導の実施の手引き」）をご参照ください。

https://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshou/iryouseido01/dl/info03j-130822_04.pdf

2. 本サービスの概要

オンライン面談とアプリ支援は、スマートフォンやタブレットを活用して、保健指導を利用できるサービスです。スマートフォンやタブレットを持たない利用者や対面、電話による支援を希望する利用者へは、SOMPOヘルスサポートが持つ専門職ネットワークを活かした対面、電話によるサービスを提供し、本サービスとこれまでのサービスの強みを組み合わせることで実施率向上を図ります。

サービスの詳細は以下の通りです。

内容（メニュー）

メニュー	使用ツール	サービスの特長
オンライン面談	・スマートフォン ・タブレット	・ノウハウと知見を持つ健康相談員が対応 ・テレビ電話形式で実施 ・面談場所の制約のない（どこでも）支援が可能
アプリ支援	・スマートフォン ・タブレット	・保健指導利用者向けのアプリ「ippo-ippo ヘルレコ ^(※2) 」を使用 ・アプリ支援と電話支援を選択可能 ・時間と場所を問わずモニタリング記録可能 ・アプリへの記録を忘れても電話でサポート実施

*2 2017年1月より、保健指導利用者向けに提供しているスマートフォン、タブレットに対応したモニタリングアプリです。

3. 提供開始時期

2019年2月

4. 今後の展開

SOMPOヘルスサポートは、これまでに培った知見やノウハウとAI・デジタル等の先進的技術を活用し、利便性・効率性が高く、個々人の体質や特性に応じた（パーソナライズ化された）サービスへの革新を進めてまいります。

以上